



志津中だより

Shizu Junior High School News

9月号

令和7年9月1日発行



志津中学校 5 本柱

1. 挨拶をする
2. 清掃を一生懸命にする
3. 人の話を聞く
4. 時間を守る
5. 歌声を盛んにする

「思いやりの心を育む ～戦後 80 年の節目にあたって～」

校長 村上 武宏

連日のように熱中症警戒アラートが発表され、記録的な猛暑に見舞われた夏休みでしたが、今日から生徒たちののはつらつとした挨拶や明るい笑顔が学校に戻ってきました。生徒たちの元気な声が戻ってくると、寂しそだった校舎が息を吹き返したように感じます。やはり、学校の中心は生徒たちなのだなあとと思います。

7 月には、3 年生にとって、最後の夏の総体、コンクール、展覧会が行われました。これまで、目標に向かって邁進してきた自信とこれが最後かもしれないという緊張感のある思いが生徒たちの表情に現れていました。結果は、様々でしたが、どの部活動においても、共に活動してきた仲間や先生、親、関わってくれた方々への感謝の思いをもって最後の節目を迎えてくれたものと思います。最終的には、すべての部活がどこかで負けて終わりましたが、「人生はいつも敗者復活戦」のようなものです。これからの人生に志津中での部活動の経験を生かして行って欲しいと思います。

今年の夏休み中の一番の話題は、「戦後 80 年」だったと思います。特に、8 月 6 日の広島、9 日の長崎、15 日の終戦記念日は、いつにもましてマスコミで多く取り上げられていました。6 日の広島で行われた平和祈念式典では、子ども代表として、広島市立皆実小学校 6 年の関口千恵璃さん、広島市立祇園小学校 6 年の佐々木駿さんが、「平和への誓い」を述べました。「一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたことを、どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります」と広島で生まれ育った立場から「未来へつなぐ思い」について、力強く訴えていました。そして、「一人ひとりが相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずですよ。大人だけではなく子どもも、周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。」という世界中の人たちへの願いにもとれるメッセージを伝えました。ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないという広島の方々の強固な決意に感銘を受けました。

以前、生徒の引率で長崎を訪れたことがあります。平和公園や原爆資料館、浦上天主堂など、被爆の惨状をはじめ、原爆が投下されるに至った経過、および平和を希求するこれまでの取り組みなどを見ることができました。地元の戦争体験者の方の話を聞く時間もあり、一瞬にして多くの命が失われ、被爆後の生活も大変だった体験などを熱心に話してくれました。生徒たちの真剣な眼差し、一生懸命にメモをとる姿、体験者の方と意欲的に対話する姿勢は、今でも覚えています。見学地の中に「城山小学校」がありました。この学校は、爆心地から約 500m の所にあり、もっとも爆心地に近い学校でした。学校の教職員など約 140 人が犠牲となりました。また児童約 1500 人のうち、約 1400 人が亡くなったと言われています。現在の校内には、被爆した校舎を改装した「平和祈念館」や、慰霊や平和への願いが込められた碑などがあります。ガイドをしてくれた方の話から、現在の子どもたちも、いつも命の大切さと向き合いながら生活を送っていることを知りました。日常的に平和について友だちと語り合うことができる環境であり、対話しながら平和の大切さを深めている様子が想像できました。8 月は、年に一度、平和について考えなければならない期間だと思いますが、今年は、特に戦後 80 年という節目の中で、生徒たちにも、「自分たちはどう行動していくべきか」を身近な生活から考えさせる良い機会なのかもしれません。

さて、秋は、部活動新人戦、合唱祭など生徒たちが活躍する場面も多くあり、更なる成長が期待されます。しかし、その反面、価値観の衝突から生徒間のトラブルやいじめ事案が起きやすい時期でもあります。未来において、平和な社会の形成者となる生徒たちには、学校生活を送る身近なところから、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるように、他人の考えに寄り添い、思いやりの心を大切にできる人に成長していかれることを期待します。私たちも温かく見守りながら、生徒一人ひとりにとって収穫の秋となるように支えて参ります。

「総合体育大会」「吹奏楽コンクール」「印旛郡市中学校美術部展」終了！

今年も猛暑に悩まされた「総合体育大会」でしたが、どの部活動もその暑さに負けない熱戦が繰り広げられました。勝敗はつきましたが、3年生を中心に最後の一瞬まで一心に戦う姿は素晴らしいものでした。また、文化部においても、吹奏楽部が「千葉県吹奏楽コンクール」に、美術部が「印旛郡市中学校美術部展」に参加し、日頃の成果を発揮し、素晴らしい演奏や作品を披露しました。その中でも、陸上競技部、野球部、剣道部、水泳部、硬式テニス（クラブ所属）が県大会に出場しました。



これまで、大会等の応援はもちろんのこと、お子様の体調管理、用具やお弁当の準備、試合への送り迎え等、本当にありがとうございました。それぞれが次の目標に向かって全力を尽くせるよう、今後ともご支援くださいますようお願いいたします。

佐倉市の各種行事でも志津中生が活躍しました

夏休み中に行われた佐倉市の行事でも、志津中生が活躍しました。被爆地長崎を訪れた「佐倉市平和使節団」には3年生2名が、小中学校の代表が集まって行われた「佐倉市いじめ防止こどもサミット」には2年生1名が、それぞれ学校の代表として、堂々とした態度で参加しました。それぞれが貴重な経験を得ることができました。



＜保護者の方々へのお知らせ＞

合唱祭中間発表会が開催されます ～秋季オープンスクール～

合唱祭本番に先立ち、各学年で行われる中間発表会を、保護者の方々に公開いたします。合唱祭当日は、会場の都合上、保護者の方に参観いただくことができません。ご多用とは存じますが、中間発表会にご参観くださるようお願いいたします。詳細は、後日配布いたしますご案内をご覧ください。



- ♪ 1学年：10月7日（火）1～2校時 9：00～10：05
 ♪ 2学年：10月7日（火）3～4校時 10：50～12：05
 ♪ 3学年：10月9日（木）1～2校時 9：00～10：15

なお、4月に配信した年間行事予定から、1・2年生の中間発表会が10月8日（水）から7日（火）に変更となっております。大変申し訳ございませんが、ご了承くださいようお願いいたします。

藤本育英会から寄付をいただきました

昨年度末、一般財団法人藤本武弘育英会より佐倉市立各中学校へ1校あたり30万円相当の図書及び楽器の寄贈並びに楽器の修理に係る費用の助成がありました。私たち学校は、様々な形で地域の方々から支えていただいています。



～ 9月の行事予定 ～

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1（月）全校集会 避難訓練 自転車点検
一斉下校 | 15（月）『敬老の日』 |
| 2（火）3年到達度試験② 給食開始 | 16（火）一斉下校 |
| 3（水）選挙管理委員会
脊柱側弯症二次検診 | 17（水）学級優先日 |
| 5（金）全校評議会 | 18（木）定期試験返却開始
専門委員会 |
| 7（日）諸活動停止（～12日） | 19（金）合唱祭実行委員会 |
| 8（月）生徒会選挙立候補受付（～9日）
後期教育実習開始 一斉下校 | 22（月）学年優先日 一斉下校
生徒会役員選挙活動（～25日） |
| 9（火）学習質問会（1年） | 23（火）『秋分の日』 |
| 10（水）学習質問会（2・3年）
生徒会選挙立候補者届出 | 25（木）校内授業研修会（5校時）
選挙管理委員会 |
| 11（木）第2回定期試験①
給食なし 一斉下校 | 26（金）生徒会役員選挙 あゆみ発行
選挙管理委員会 |
| 12（金）第2回定期試験②
給食なし 一斉下校 | 29（月）北総教育事務所管理主事訪問
一斉下校 |

